

秩父盆地から眺める象徴的な山 武甲山

実施日 2012年11月10日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 鈴木 政三
 参加者 中村友子、鈴木政三、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、小名秀鋭 計6名
 費用 電車1,730円(池袋起算) タクシ890円 計2,620円
 タイム 西武秩父駅(タクシ9:15~9:35)一の鳥居(9:40~10:05)登山口(10:05~10:55)大杉の広場(11:00~11:40)武甲山(12:35~13:05)長者屋敷ノ頭(13:10~13:55)登山口(14:00~14:50)浦山口駅(15:10)



タクシーで生川の一の鳥居の駐車場までに行く。ここからは御嶽神社の表参道

で、鳥居の手前に1丁目石があり山頂まで新旧の長目石が置かれている。

しばらく川沿いの林道を歩き登山道に入る。不動の滝を右に見て木橋を渡る。スギ林の中をジグザグに登り大杉の広場

に出る。1本の大杉が際立ちランドマーク的にそびえている。スギ林の中では紅葉は見られない、



単調な登りで石段コースの分岐に出る。崩落ありで通行止め、一般コースを行く、五十長目石を過ぎると尾根に出て、右に行くとすぐ御嶽神社に着く。参拝し神社の裏手に進み第1展望台上がる。

眼下は真っ白なむき出しの石灰岩、その先に秩父盆地、遠くに赤城山、榛名山方面が広がる。



古びた鐘楼の前を通り第2展望台に、狭いが筑波山方面が広がる。御嶽神社に戻り陽だまり

の中でゆったりと昼食をとる。

下りはしばらくカラマツ林の中を行く、カラマツの黄金色は少し時期が過ぎていた。長者

屋敷ノ頭を過ぎるころより眼下に橋立川、遠方に小持山方面の尾根が望め、日



差しを浴びた紅葉がきれいに映える。

なだらかな尾根歩きからジグザグの急斜面を下り小さな滝や堰堤を見て、付け替えの丸太橋を渡り林道に出る。

橋立川に沿って清流を眺めながら歩く。途中秩

父札所28番橋立堂に立ち寄り参拝。大きく聳える岩壁の真下にお堂が建立されてお

り鍾乳洞もある。雨で2回中止、今回も雨予想のため1日前倒しの山行だったが、3回



目でやっと天気恵まれ風もなく陽だまり山行が出来た。

(記・鈴木 政三)
(写真提供・伊藤 久雄)

